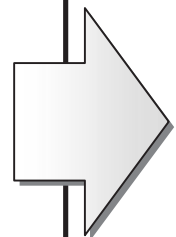
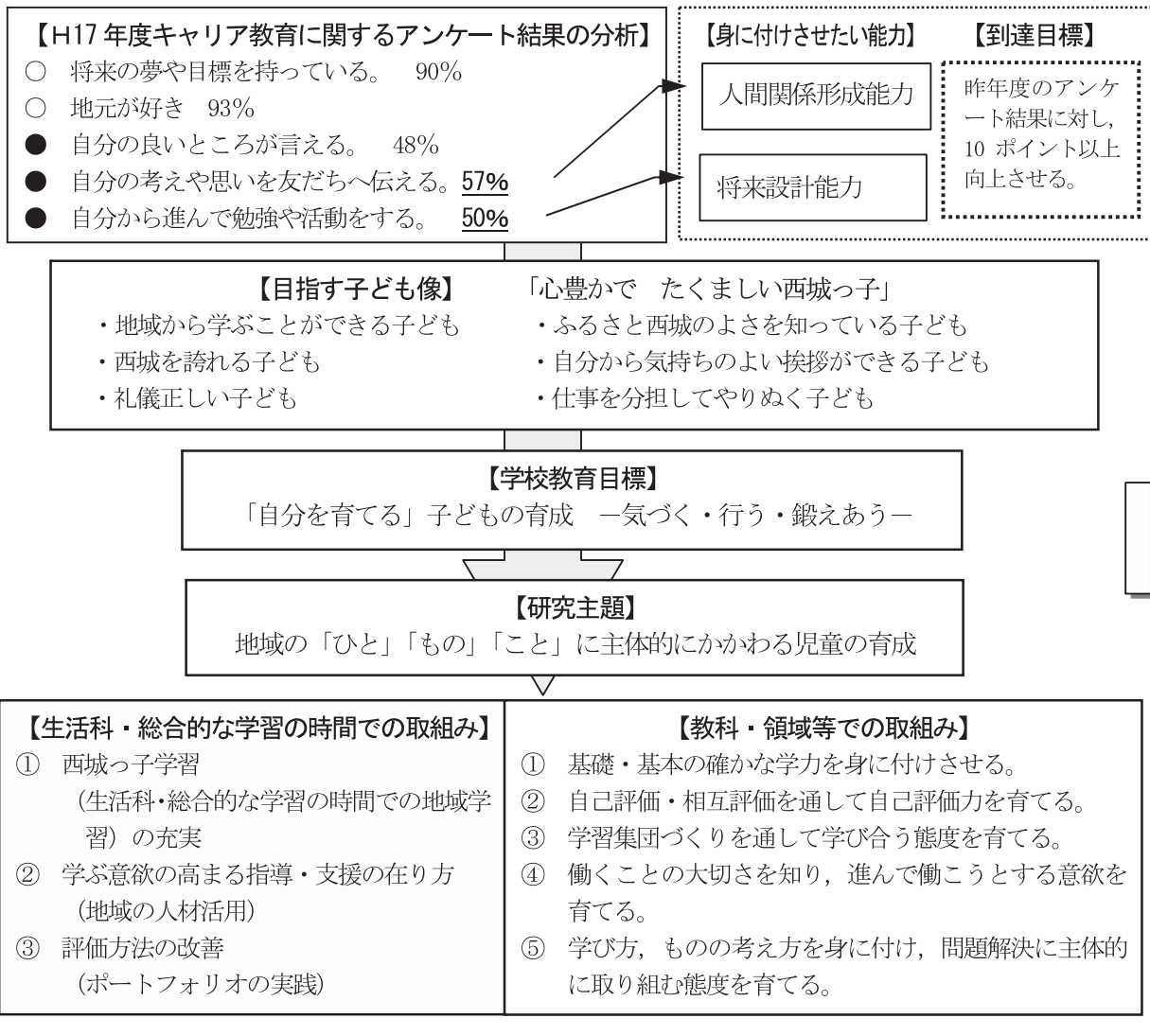


研究テーマ

地域の「ひと」「もの」「こと」に主体的にかかわり、自分の伸びを自覚する児童の育成

P



A

【「人間関係形成能力」を育てるための取組み】

- 自己有用感・自己肯定感が高まるように、対話を重視したポートフォリオ評価を取り入れ、児童一人一人に応じた的確な手立てを実施していく。そのために、児童のポートフォリオを基にした演習などの研修を実施し、指導者の評価力を高めていく必要がある。
⇒ H19年度、研究主題を「地域の『ひと』『もの』『こと』に主体的にかかわり自分の伸びを自覚する児童の育成」と変更する。**【自他理解能力】**
- 伝え合う力が高まるように、生活科や総合的な学習の時間を中心として、地域の「ひと」との交流を重点的に取り組む。また、日常的にも、朝の会や「ぐんぐんタイム」の時間を利用し、スピーチや言語技術のレッスンを継続し、「ことばの力」を伸ばす。
⇒ 「地域交流・学校間交流」を充実させる。**【コミュニケーション能力】**

D

地域の「ひと」「もの」「こと」に主体的にかかわる児童の育成

生活科・総合的な学習の時間

西城っ子学習（生活科・総合的な学習の時間での地域学習）の充実

- ・「めいじんみたいになりたいな」
- ・「大佐村7つのサインのひみつ」
- ・「ひばごん井」
- ・「地域の福祉施設 しかわせ館」
- ・「スローライフ in 西城」
- ・「今につながる西城の歴史」

学ぶ意欲が高まる指導・支援の在り方

- ・地域の人材活用「名人に学ぶ」
- ・異学年交流「チャレンジきつき店」
- ・施設に掲示していただく「しかわせ館マップ」
- ・地域の創作料理「ひばごん井」をつくる

評価方法の改善

- ・測る評価から育てる評価へ～ポートフォリオ評価の深化～
- ・コンセプトマップ法とKJ法の活用
- ・ポートフォリオ検討会～伸びを共有化する～

* 評価方法

- ・「生活・総合的な学習の時間」「キャリア教育」に関するアンケートの実施
- ・ポートフォリオ評価（凝集・作品など）自己評価，相互評価
- ・外部評価（保護者，ゲストティーチャーなど）

教科・領域等

- ・基礎・基本の力：帯時間の活用，ハッスルタイム（計算力の向上）・ぐんぐんタイム（ことばのスキル）TT指導（算数科，国語科，総合的な学習の時間），少人数指導
- ・自己評価力：教科での1枚ポートフォリオづくり（国語科，理科），作品ポートフォリオづくり

地域交流・他校との交流

- ・地域の祭り（どえりゃ祭り）のパレード参加に向けて踊りの練習会，パレードへの参加
- ・一人暮らしのお年寄りの方へのプレゼント渡し
- ・中学校生徒による入学説明会
- ・小中高合同陸上練習会
- ・地域の方の指導による校外での俳句学習，地域ボランティアによる読み語りの会，スキー教室



C

H18年度キャリア教育に関するアンケート結果の分析

- 自分の良いところと言える。48%→56% 【人間関係形成能力】
- 自分の考えや思いを友だちへ伝える。57%→57% 【人間関係形成能力】
- 自分から進んで勉強や活動をする。50%→61% 【将来設計能力】

地域のこともっと学習したい。

<分析>

- ・将来設計能力については，伸びているが（11ポイント），人間関係形成能力については，0～8ポイントの伸びにとどまった。また，「自分の良いところと言える」については，8%伸びたものの肯定的は評価をしている児童が，56%にとどまっている。
- ・地域に親しみを感じ，地域の学習を楽しみにしている児童が増えた。（感想文等の分析）